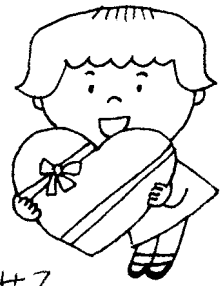




たんぽぽ組だより 2月号

平成30年2月20日 こひり保育園 担当: 安友



北風の吹く日も、背中を丸めているのは大人だけ...
子ども達は少しずつ近づいてくる春に、わくわく胸を踊らせて
います。先日はお忙しい中、保育参観にご出席いただきありがとう
ございました。

4月から一人ひとりのペースに合わせて進めてきたトイレトレーニングも
仕上げの時期月となり、今ではほとんどの子がパンツで登降園はじり、
午睡をこなしています。"おしんぼの日もパンツに排せつをしています"
"排便のときまだおしんぼ「オムツにしている?」と言っています"etc... 家庭での
様子を連絡帳で教えていただきながら、「OOちゃんはとろとろ
防水シート(午睡用)をお願いしようか」「△△くんはもう少し様子を見て
みよう」と職員間でも相談をし、一歩ずつステップアップしていく姿を
見守ってきました。まだまだ失敗してしまうこともあります。が、
"そういうときもあるよ!"と優しく受け止めることで笑顔に戻り
"次は元氣張るぞ!"と前向きになれるようです。

また、朝・帰りの支度、おはようバッグ(練習用)へのシール貼りなど
すめれ糸且に進級するための準備も着々と進んでいます。

ある朝のこと、リュックからタオル・歯ブラシセットを出してそれぞれ
自分の場所に掛けた後に、チャックを閉めようとして困っている子が
いました。良く見ると、ふちの布が巻き込まれてしまっていたようです。
すると近くにあった子が「貸してみ(て)!」と言って少しチャックを戻し、
閉め直す方法を教えてあげていました。「王様ね!(出来たぞ!)」との
得意な表情に、助けてもらった子もしんこり突って「ありがとう」と
応じていました。友だちを思いやる心の育ちに、保育者として

大きな喜びを感じた

一場面でした。今後も
子ども達の成長を
温かく見守り、関わって
いきたいです。

